

# 胃がん罹患の変化から考える 胃がん検診の将来

平成29年度がん征圧全国大会記念シンポジウム  
「胃がん検診～近未来のあるべき姿」  
平成29年9月7日（金沢東急ホテル）

国立がん研究センター 社会と健康研究センター  
井上真奈美

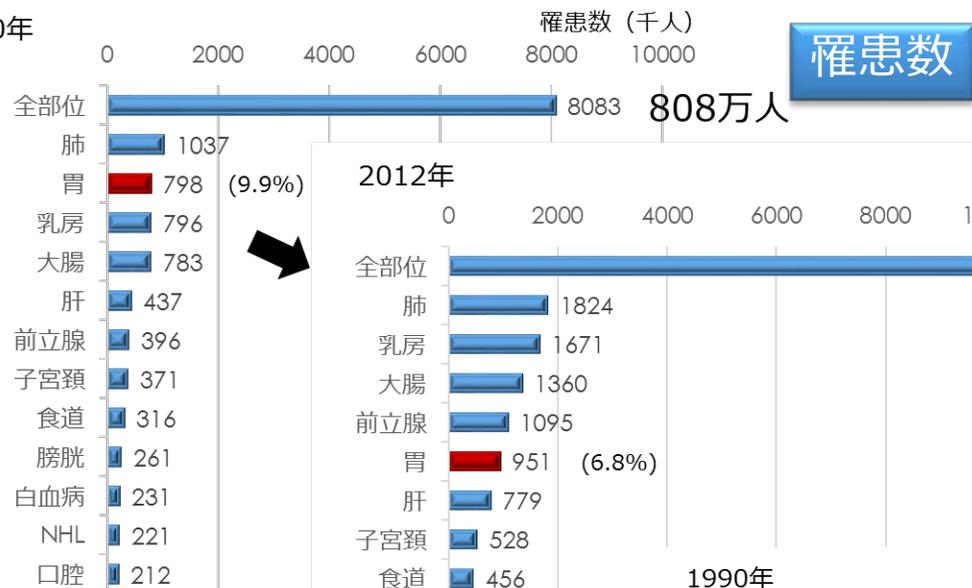
# 本日本話すること

- 胃がんの疫学的動向
- ヘリコバクター・ピロリ感染の疫学的動向
- わが国における胃がん検診の将来

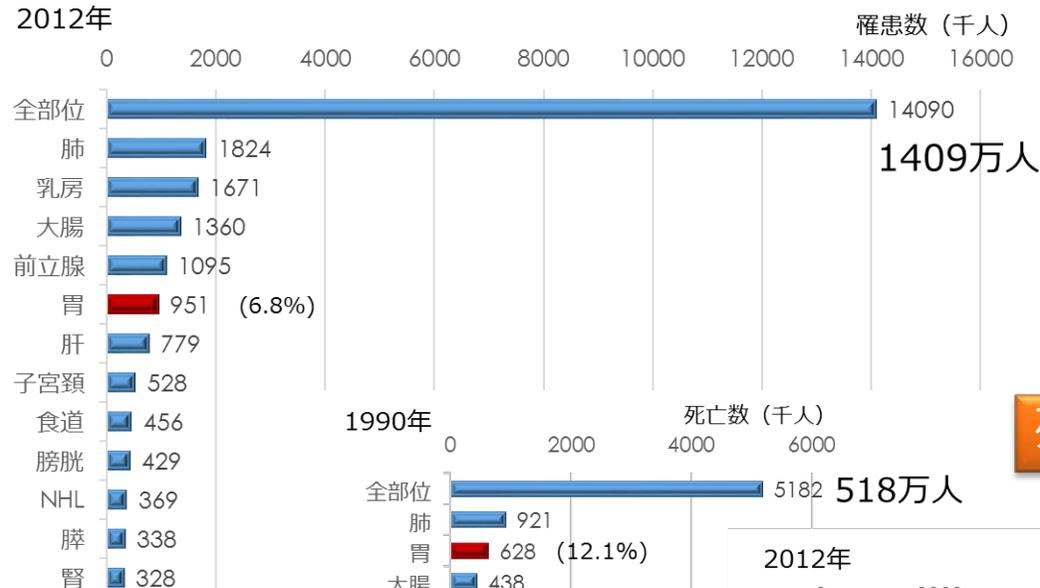
# 胃がんの疫学的動向

# 世界のがんの推移—部位別ランキング (男女計)

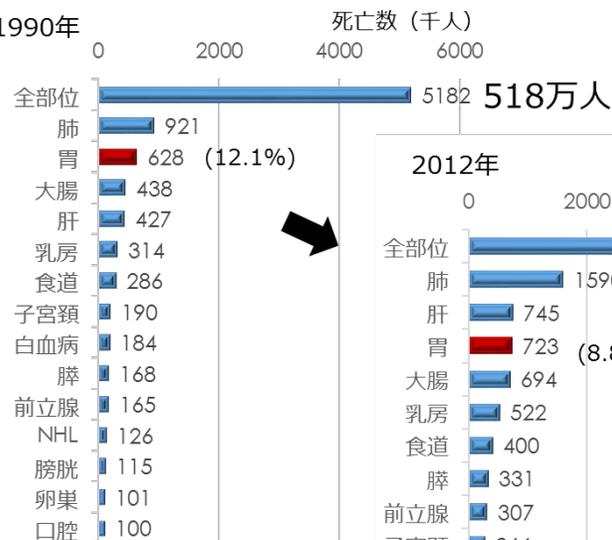
1990年



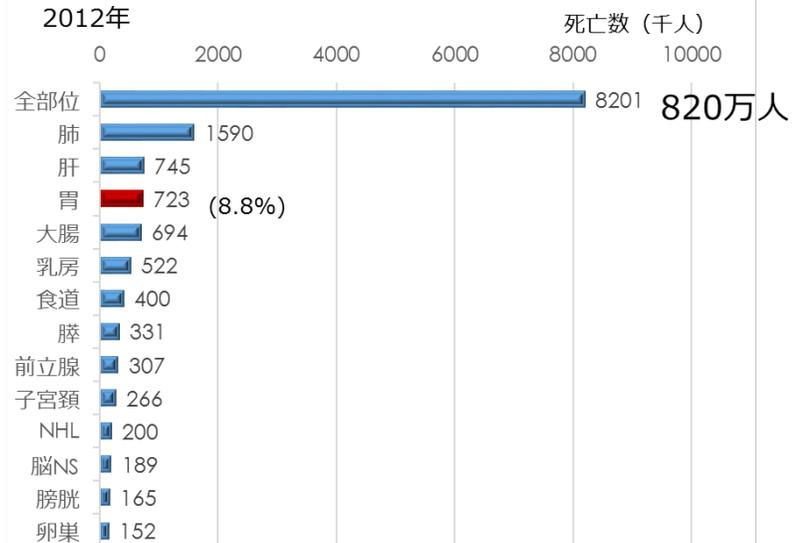
2012年



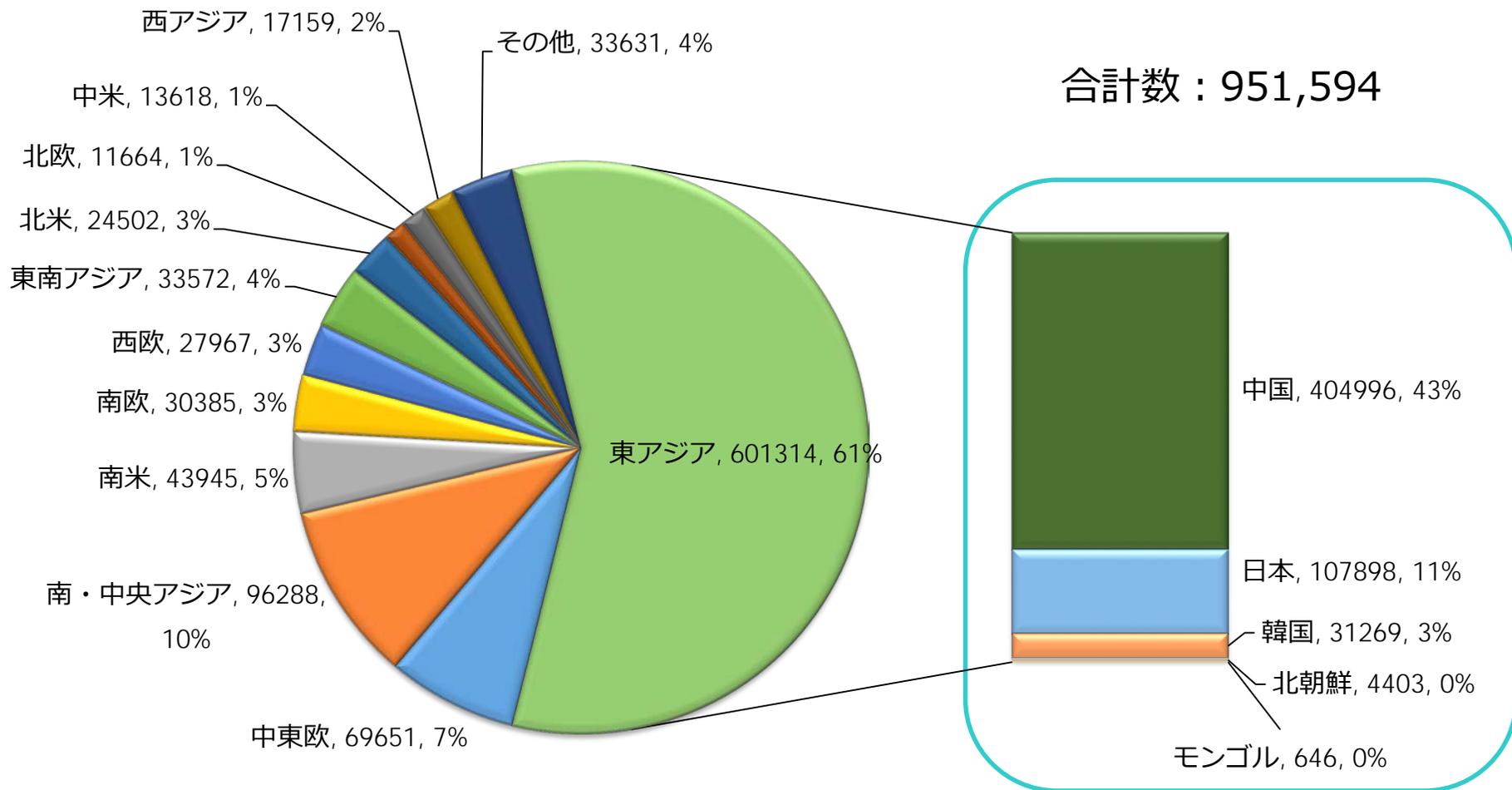
1990年



2012年

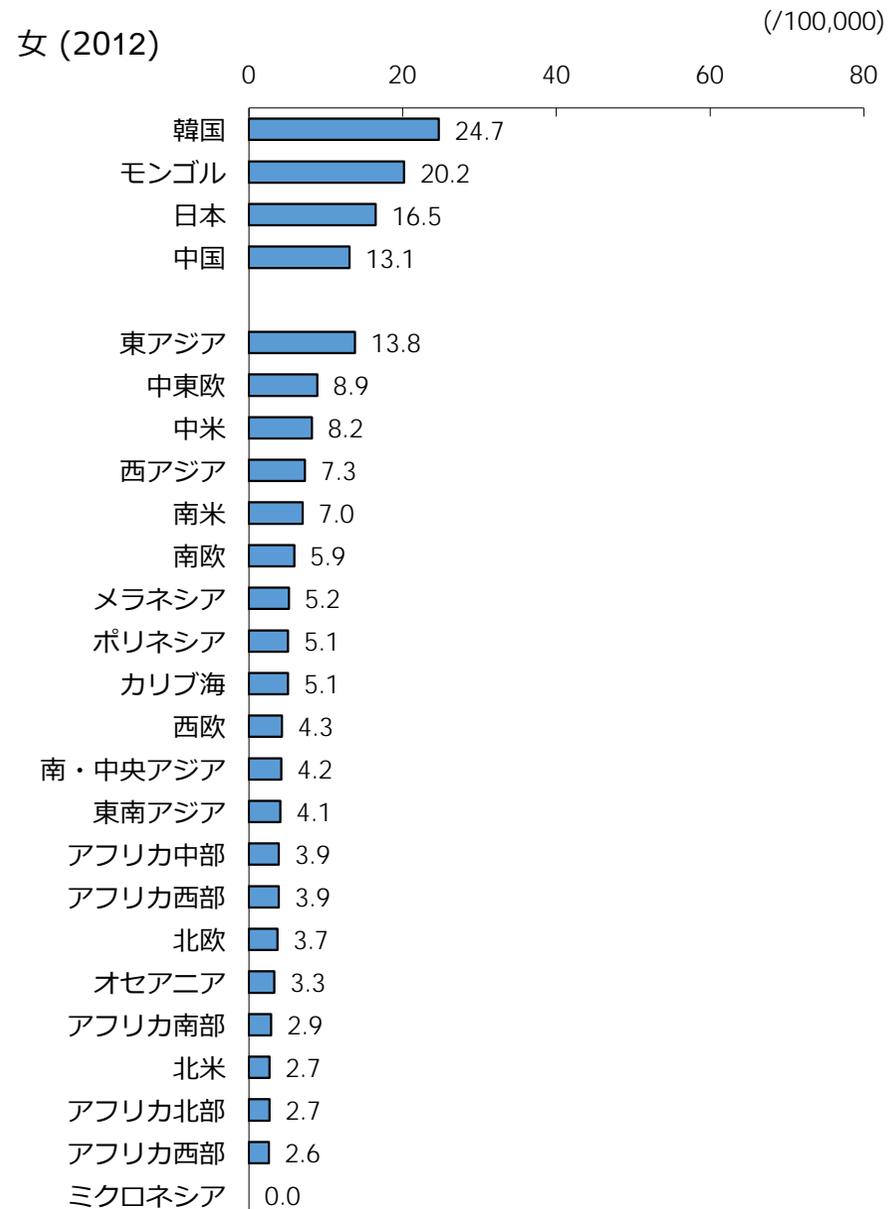
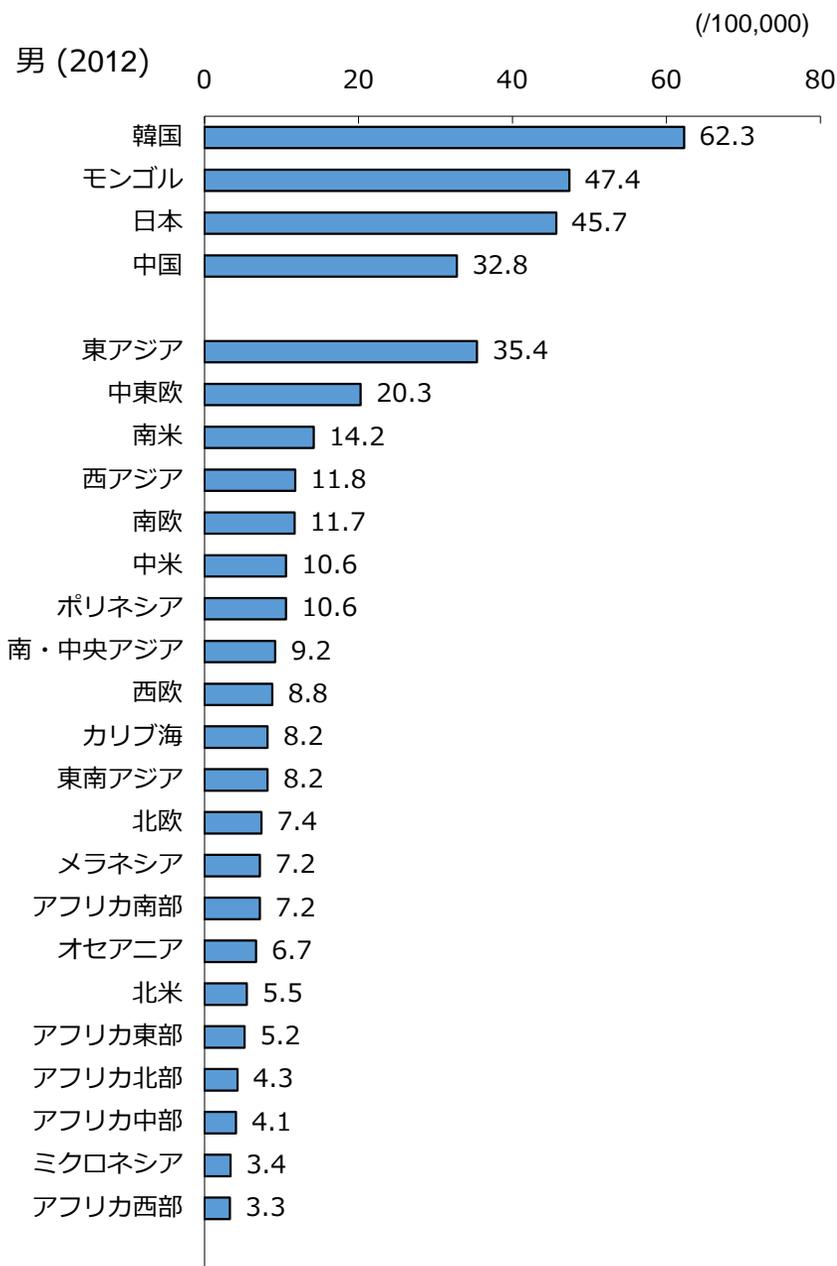


# 世界の胃がんの分布 (2012)



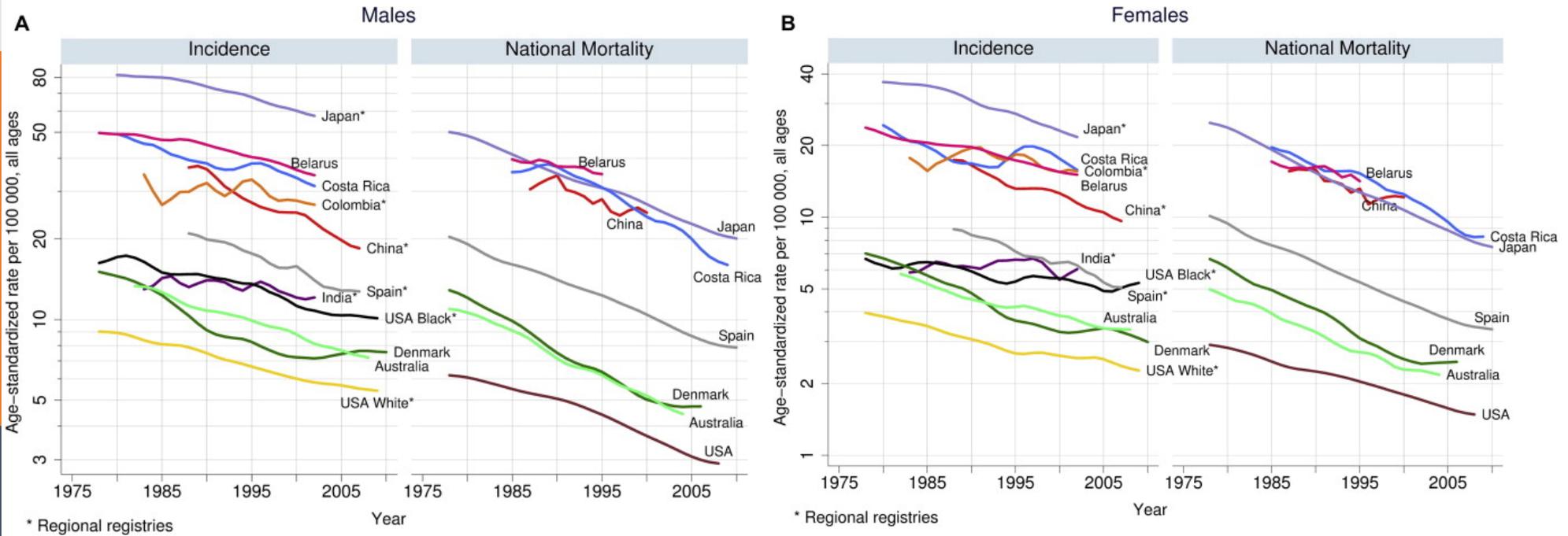
(GLOBOCAN 2012)

# 世界の胃がんの分布（年齢調整罹患率） - 2012

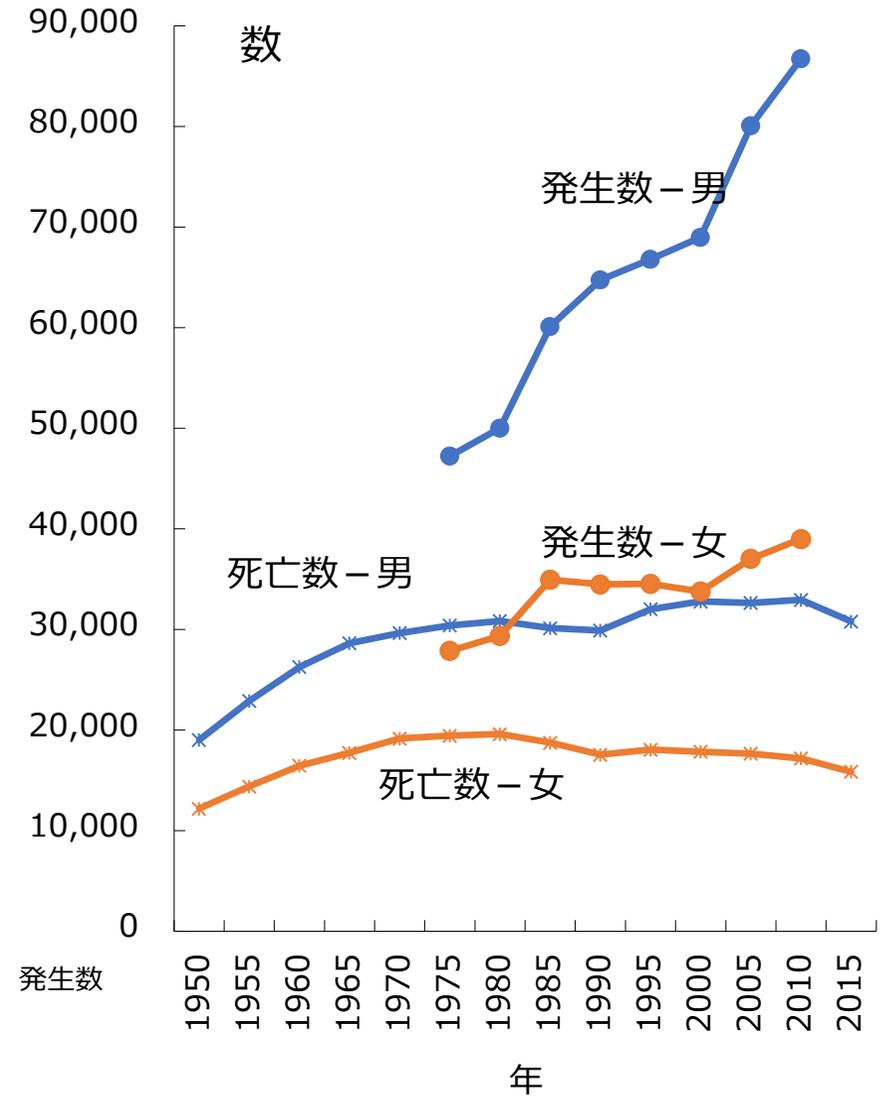
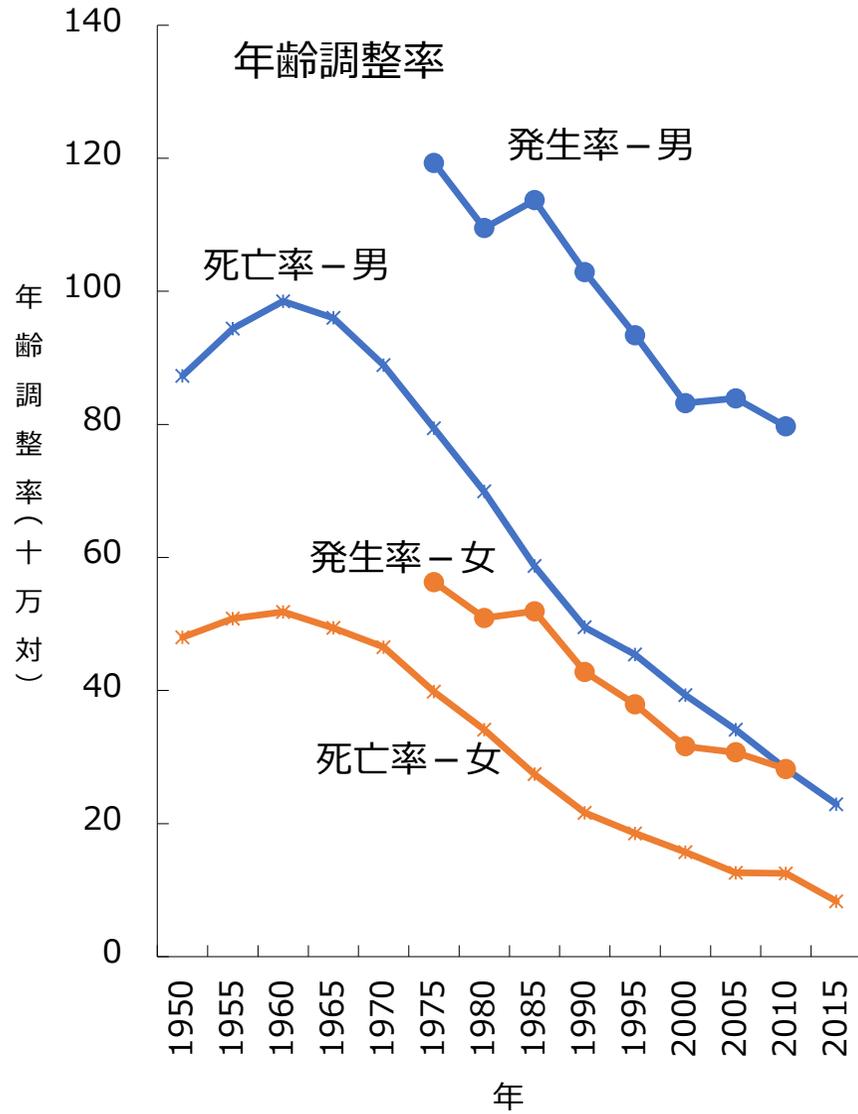


□ 胃がんは減少している。

# 胃がん年齢調整罹患率死亡率の年次推移 1978-2010

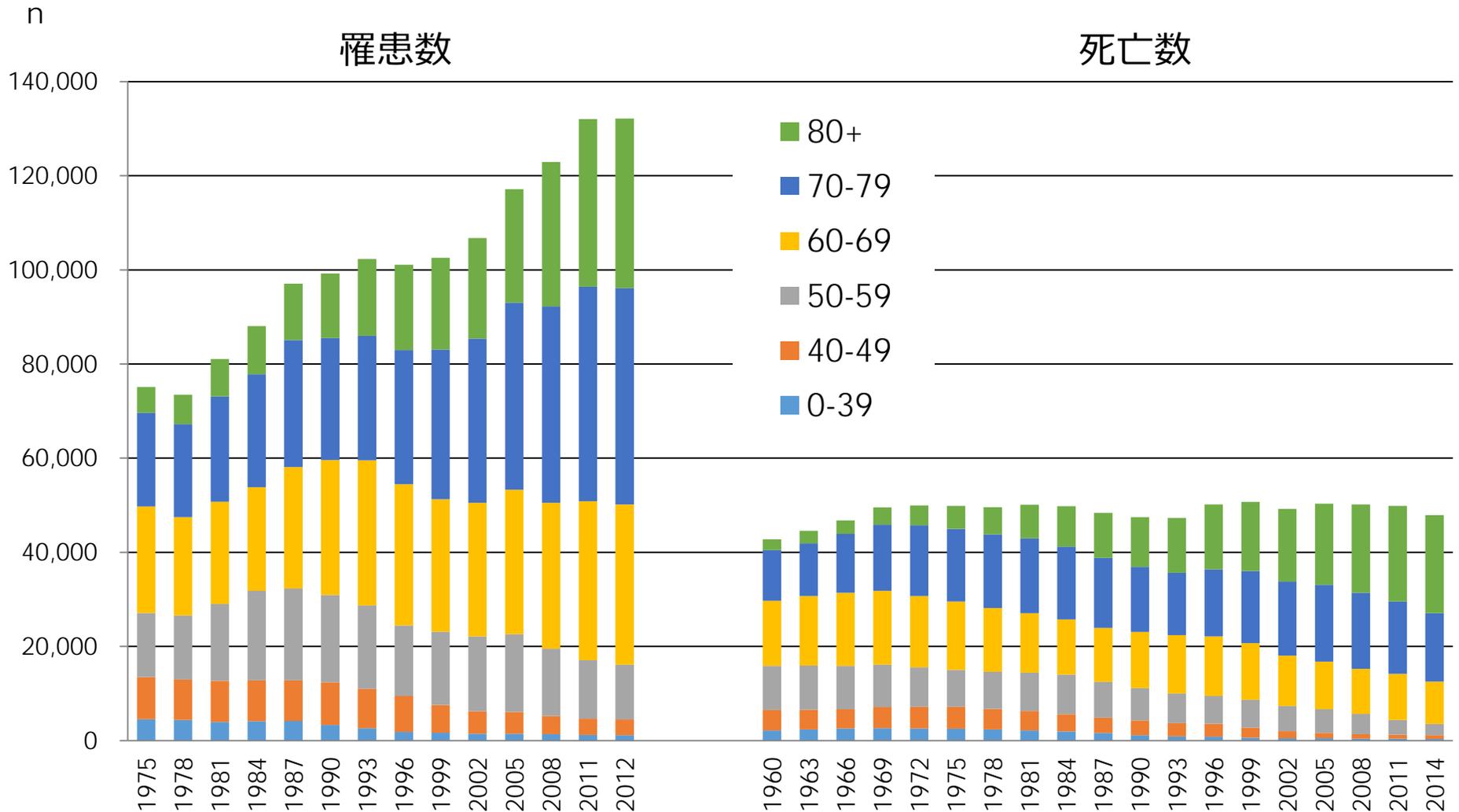


# 日本における胃がんの発生と死亡の推移



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」、国立がん研究センターがん対策情報センター  
<http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html>

# 日本における胃がんの数



# ここまでのまとめ

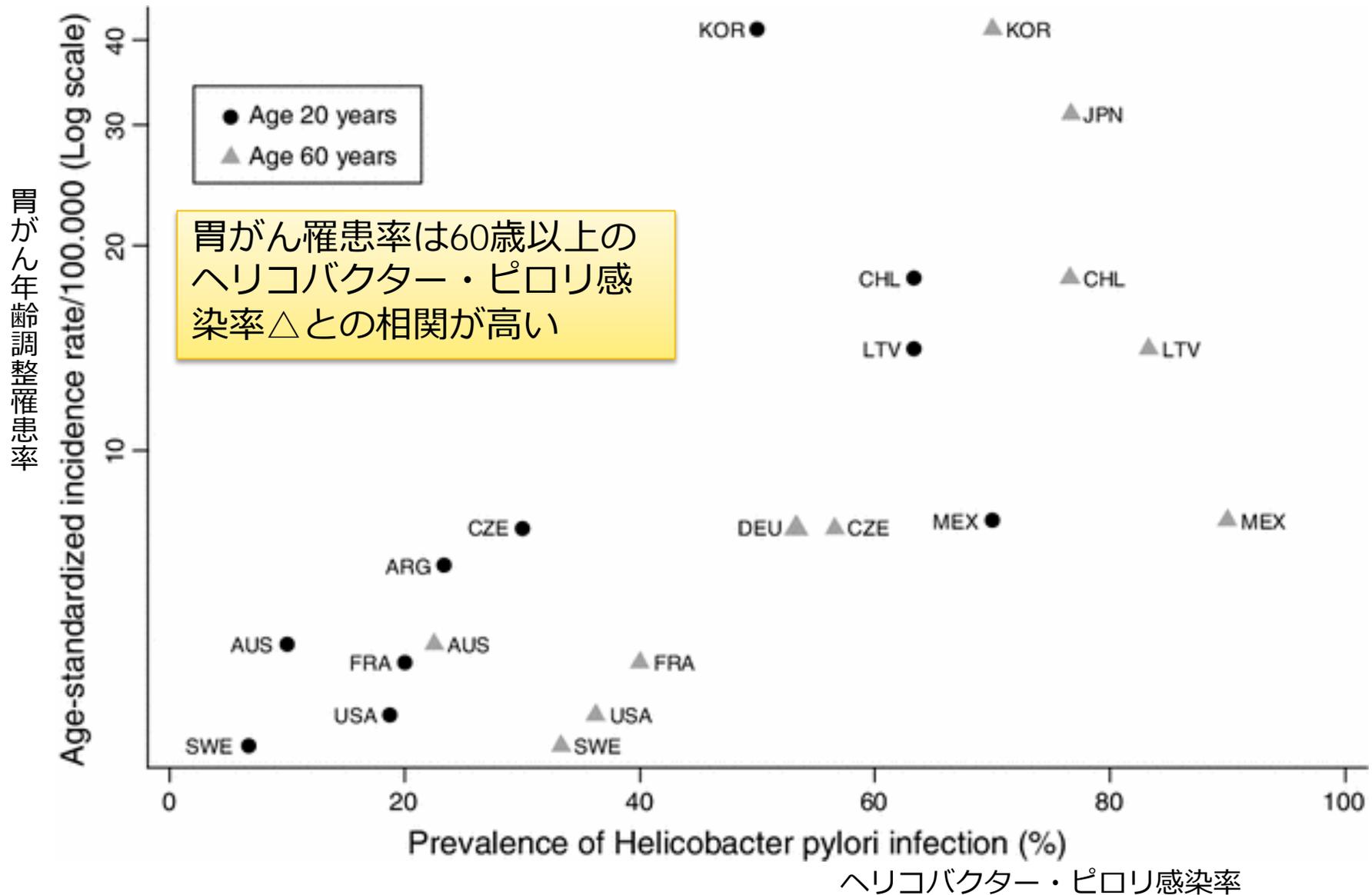
- 世界の胃がんの半分以上は東アジアから起こっている (61%)
  - 中国 43%, 日本 11%, 韓国 3%
- 日本における胃がんは減少している。
- 日本における胃がんは「高齢者のがん」である。
- 高齢者に多いのは、生まれた時期の影響？

# 胃がんの要因 (改善可能なもの)

2016改訂		リスクを下げる DECREASES RISK	リスクを上げる INCREASES RISK
強固な証拠 STRONG EVIDENCE	確定的 Convincing		ヘリコバクター・ピロリ感染 (非噴門部) 喫煙
	ほぼ確実 Probable		体脂肪(噴門部) アルコール摂取 塩蔵食品 加工肉(非噴門部)
証拠が限ら れている LIMITED EVIDENCE	証拠限定的、影響示唆的 Limited-Suggestive	柑橘類 (噴門部)	直火焼きやバーベキュー・燻 製の肉魚、果物摂取不足
	証拠限定的、影響不明 Limited-no conclusion	穀類、食物繊維、野菜、豆類、芋類、でんぷん、根菜、バナナ等、柑橘類 (非噴門部)、ナッツ種類、ハーブ、チリ唐辛子、スパイス香辛料、非加 工肉、加工肉 (噴門部)、鶏肉、生魚、卵、乳製品、塩、添加塩、フルー ツジュース、コーヒー、紅茶、緑茶、揚げ物、乾燥食品、硝酸・亜硝酸塩、 ニトロソメチルアミン、タンパク質、脂肪・油脂、脂肪酸バランス、コレ ステロール、糖、βカロテン、レチノール、チアミン、リボフラビン、ビ タミンC、ビタミンD、マルチビタミン/ミネラルサプリメント、カルシ ウム、鉄、セレンウム、体脂肪 (非噴門部)、運動、座位に関連する行動、 成人時身長、エネルギー摂取、職業曝露	
強固な証拠 STRONG EVIDENCE	リスクに相当の影響があ るとは考えにくい		

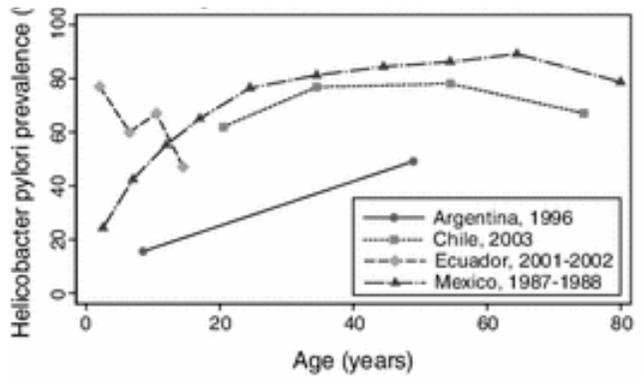
# ヘリコバクター・ピロリ感染の疫学的動向

# 2000年前後のヘリコバクター・ピロリ感染率と 胃がん罹患率 (GLOBOCAN, 2008)

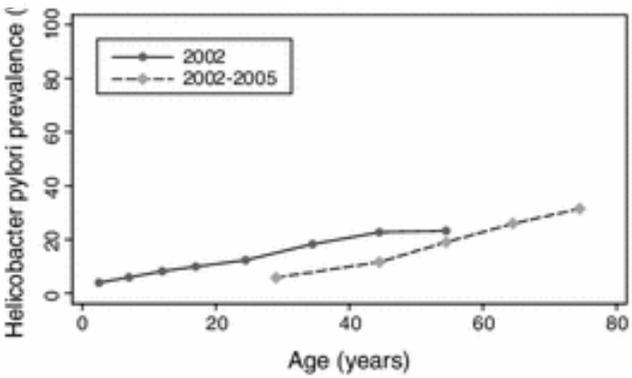


# さまざまな国におけるヘリコバクター・ピロリ感染率

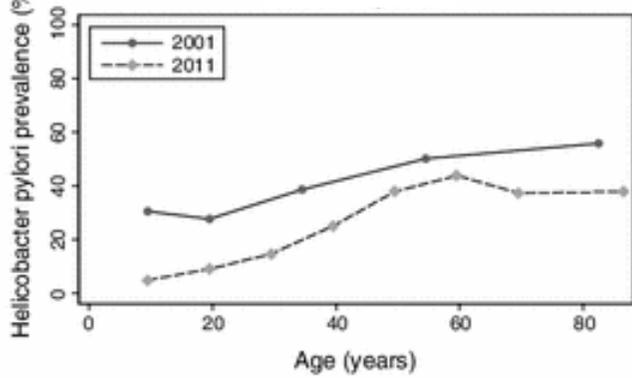
## アルゼンチン、チリ、エクアドル、メキシコ



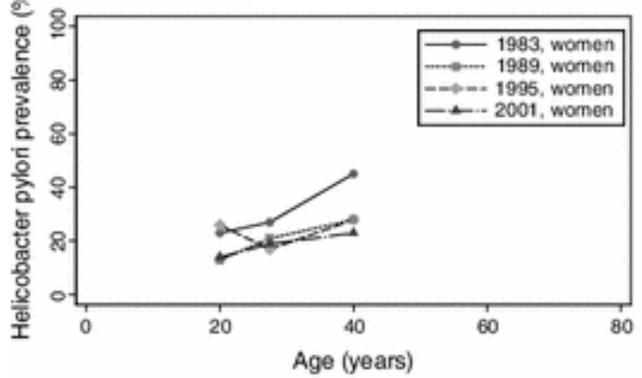
## オーストラリア



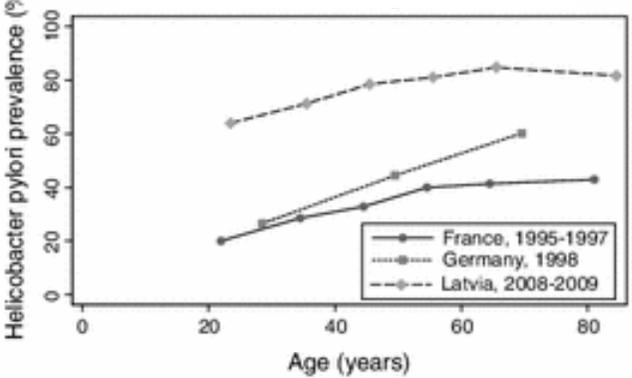
## チェコ



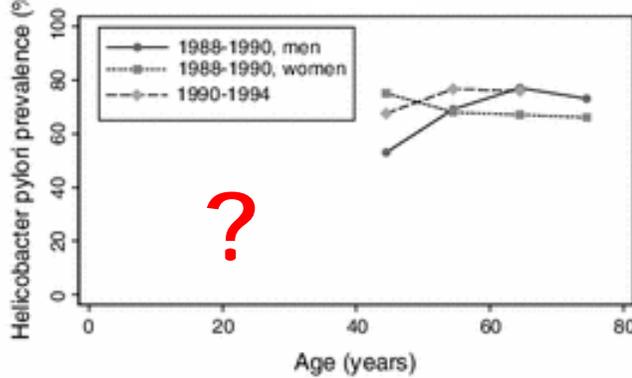
## フィンランド



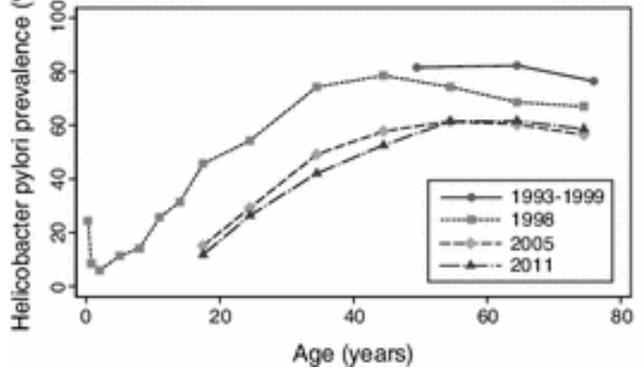
## フランス、ドイツ、ラトビア



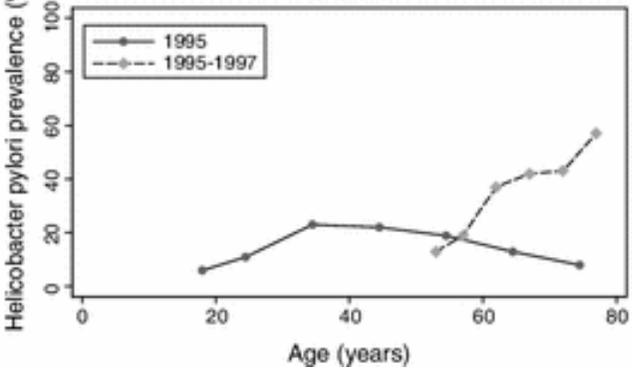
## 日本



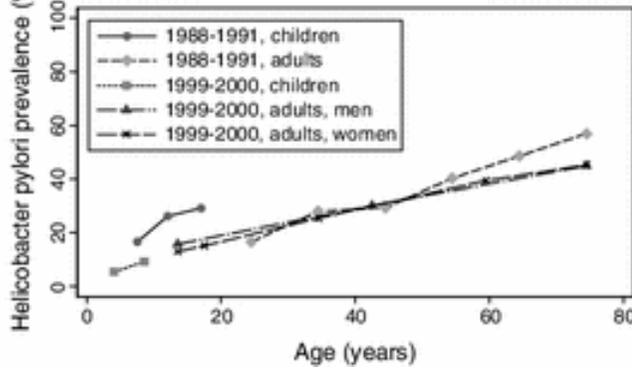
## 韓国



## スウェーデン



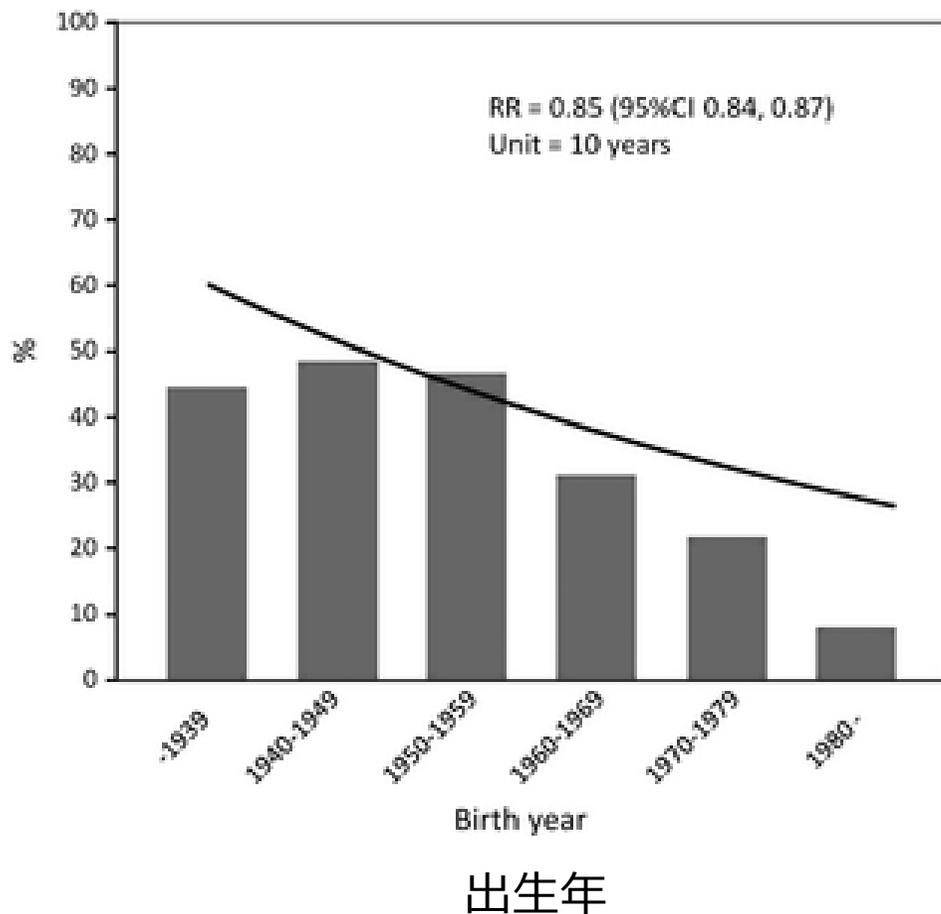
## 米国



# ヘリコバクター・ピロリ感染

- 5歳未満の時期に感染成立。
- 感染は子供の頃の衛生環境の影響を受ける。
- 多くの研究では、年齢が高い方が感染率が高い、と表現している。しかし、年齢ではなく出生時期による感染率の違いの方が胃がんの将来を考える上で重要。

# わが国における出生年別にみたヘリコバクター・ピロリ感染

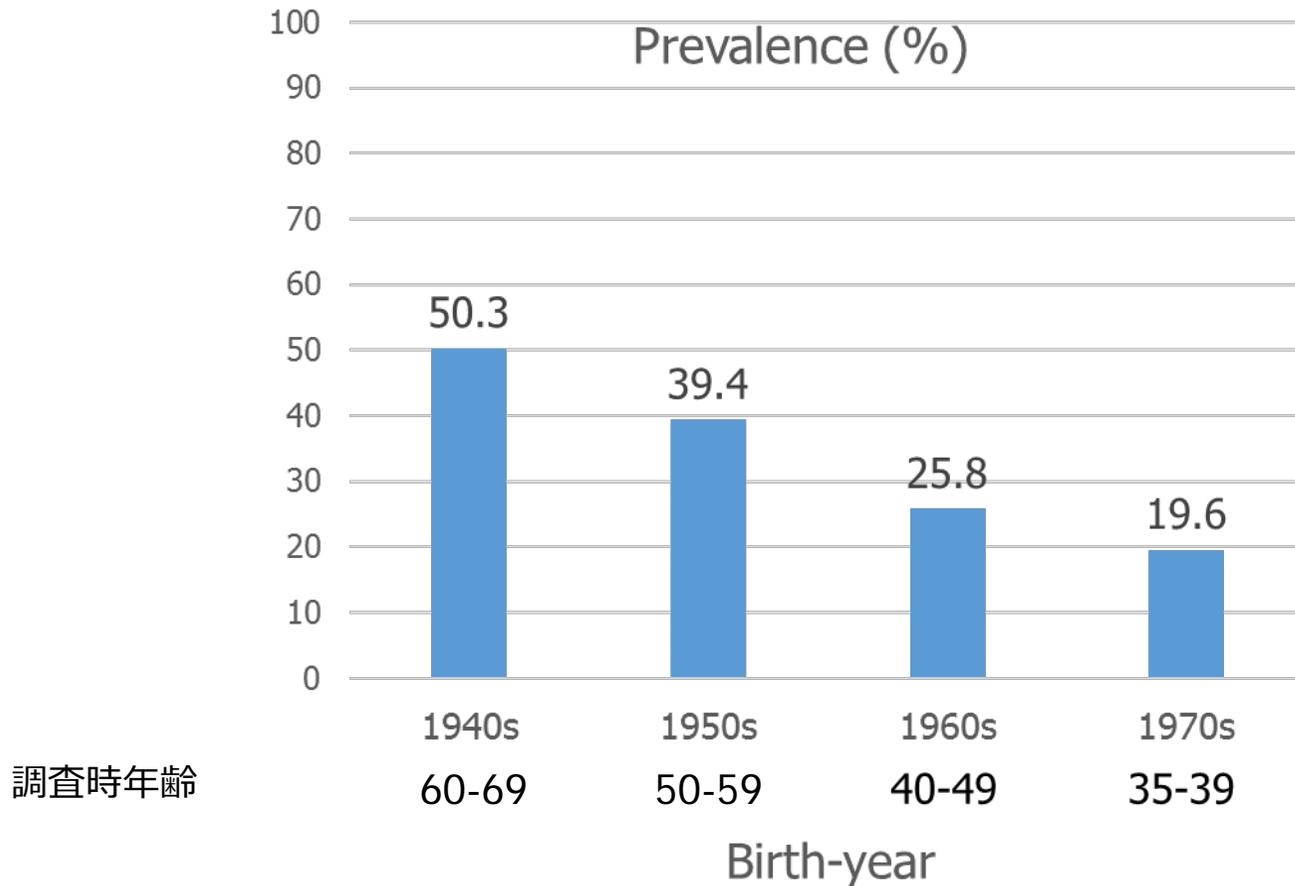


多施設共同研究  
1997-2013  
20歳以上  
健康診断

北海道  
青森  
山形  
群馬  
愛知  
滋賀  
香川

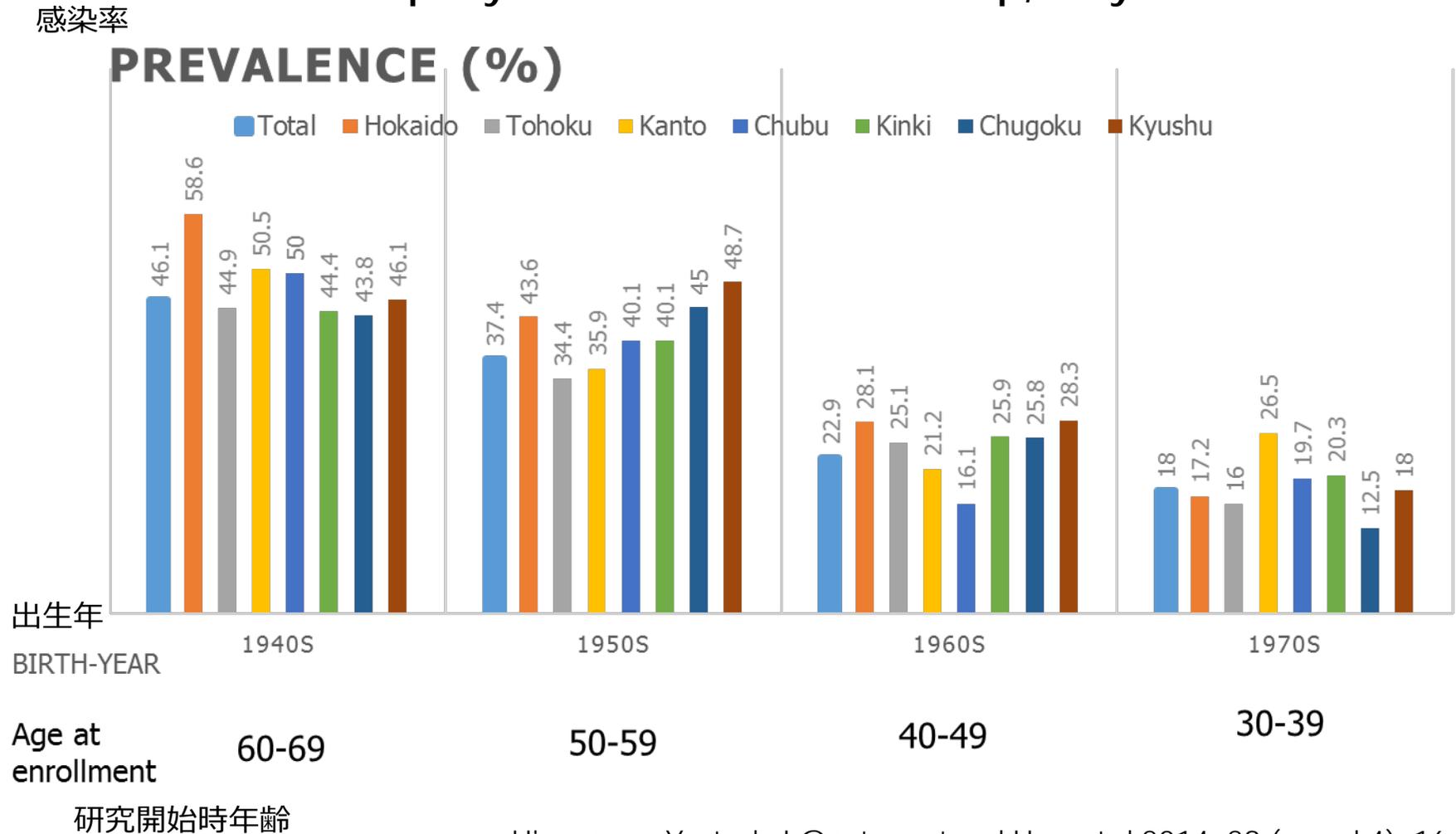
# 日本の都市部における出生年別 ヘリコバクター・ピロリ感染率 2008-2010

J-MICC大幸研究 (名古屋)



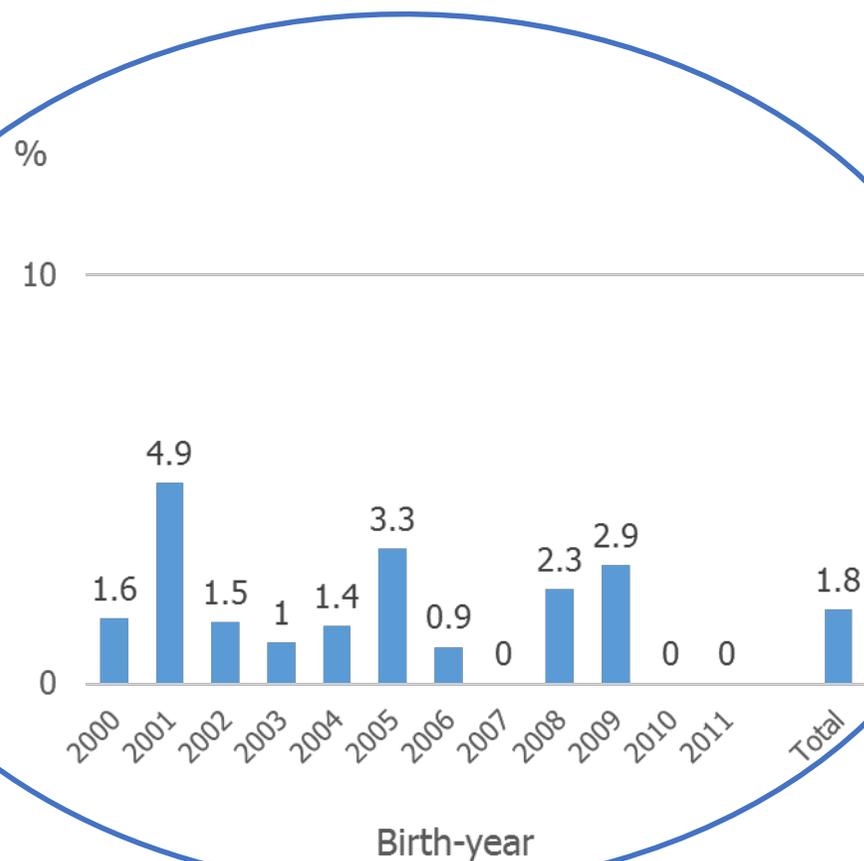
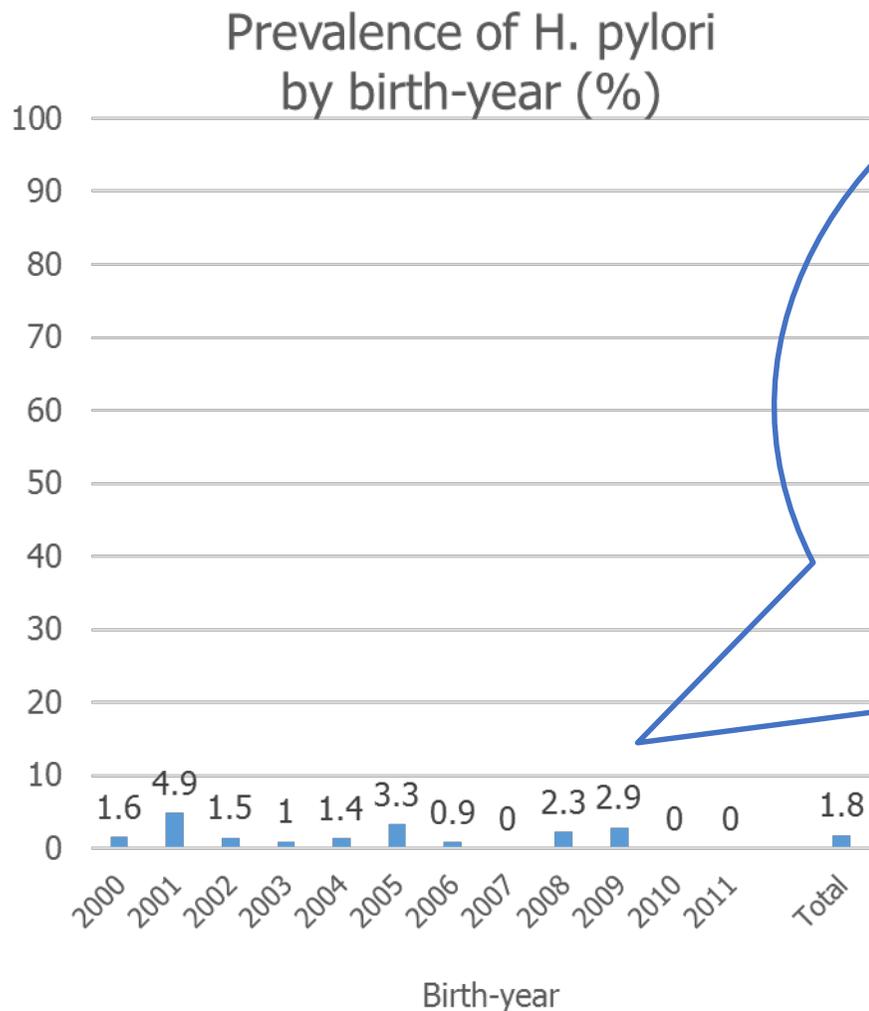
# 日本の健常者におけるヘリコバクターピロリ感染率 (職域の健康診断データから)

## T-company's Annual Health Check-up, Tokyo



# わが国の小児におけるヘリコバクター・ピロリ感染率

Sasayama, Hyogo Prefecture, 2011 (n=835)



兵庫県篠山市における調査

# 出生年別にみた日本人のヘリコバクター・ピロリ感染率

-HERPACC III (2005-2013), Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan-

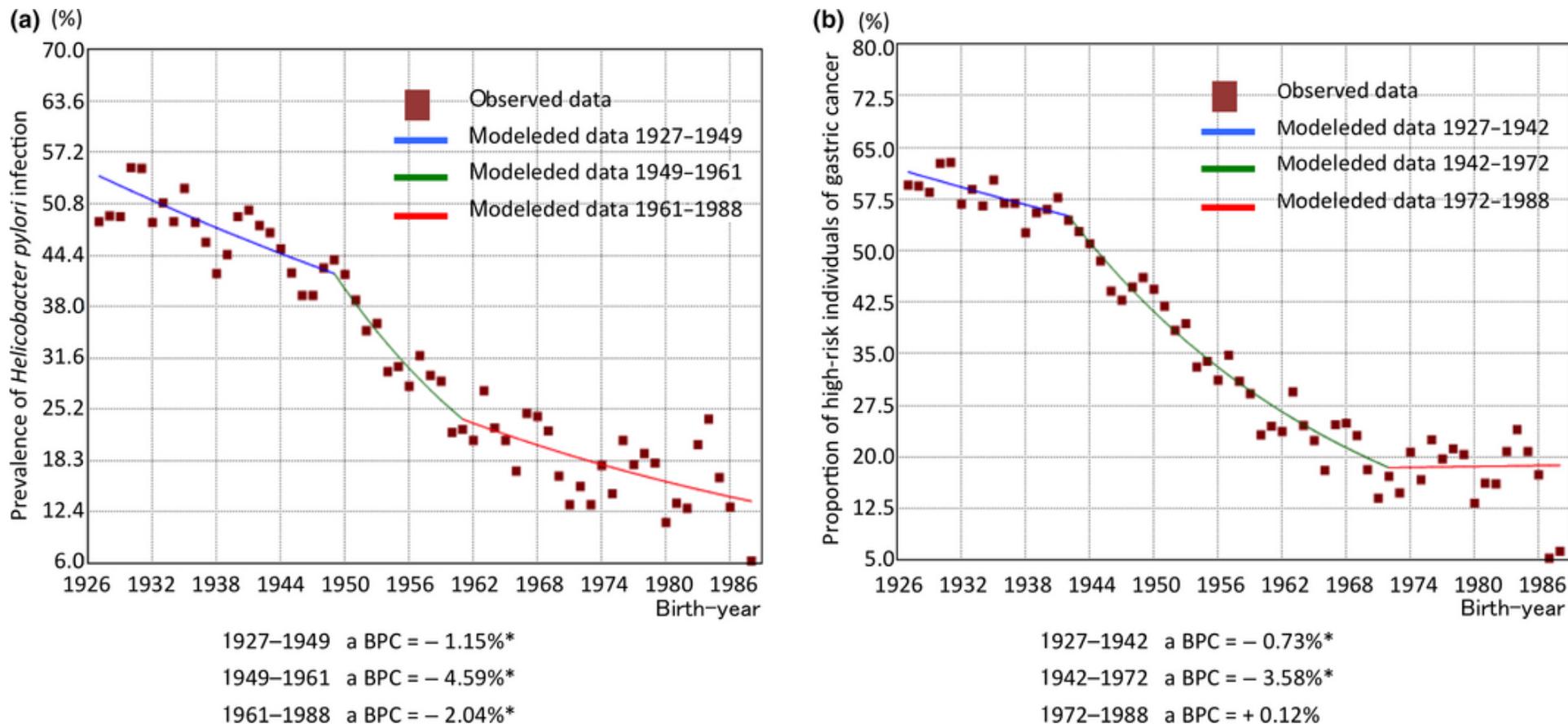
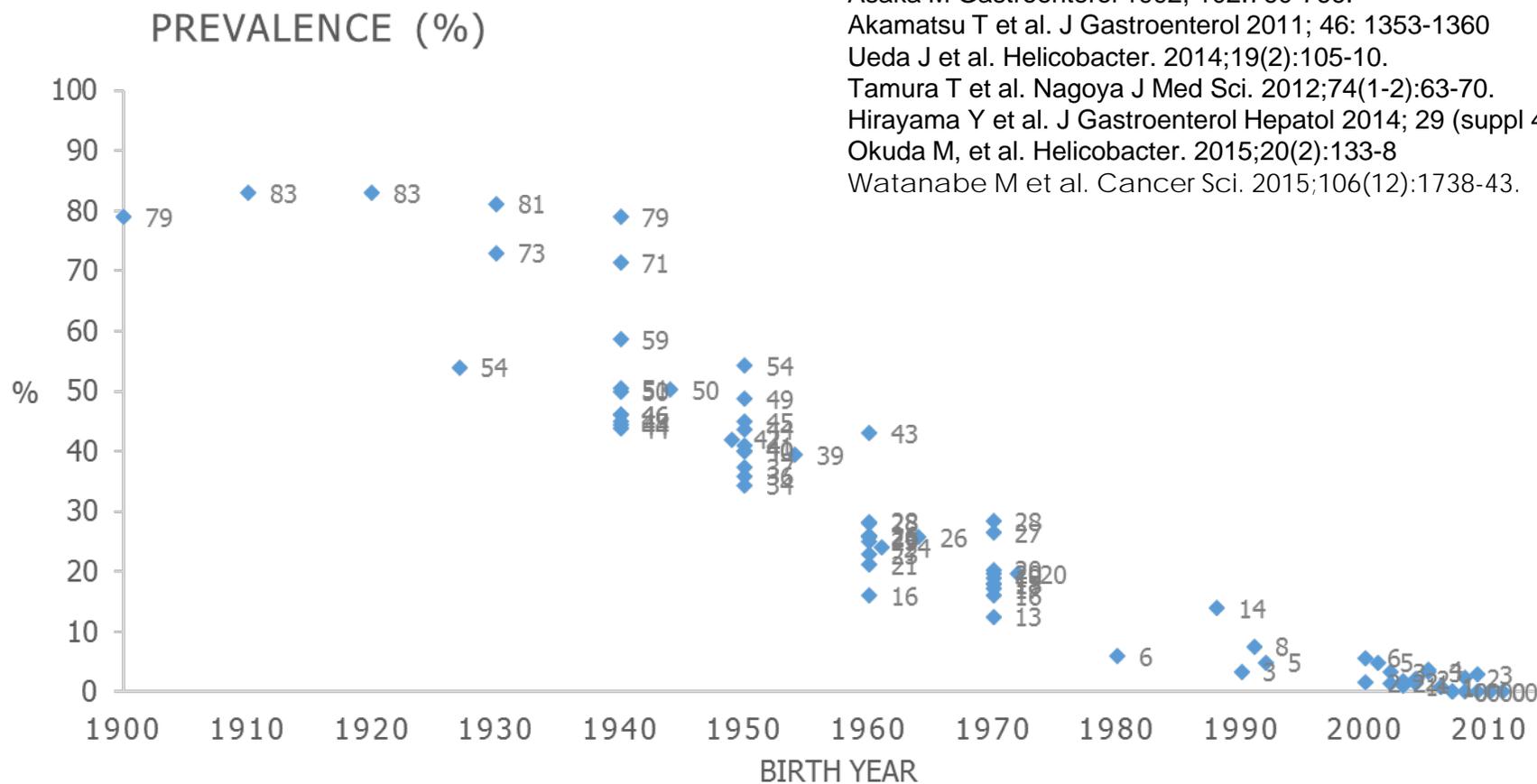


Figure 2. Trends in the prevalence of *Helicobacter pylori* infection (a) and proportion of high-risk individuals for gastric cancer (b) by three-birth-year moving-average method in Joinpoint regression analysis. \*Statistical significance was set at  $P < 0.05$ . BPC, birth-year percent change.

BPC: Birth year percent change

# まとめ

## 出生年別にみた日本人のヘリコバクター・ピロリ感染率



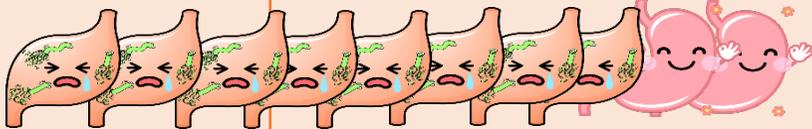
# まとめ

## ヘリコバクター・ピロリ感染の疫学的動向

- わが国におけるヘリコバクター・ピロリ感染率は出生年が遅いほど減少。
- ヘリコバクター・ピロリ感染関連胃がん（日本人の胃がんの大半）は将来なくなる？

# わが国における胃がん検診の将来

# わが国における胃がん検診の将来

	ヘリコバクター・ピロリ 感染状況	効果的な胃がん検診 のあり方は？
これまで	大部分の人が ヘリコバクター・ピロリに感染 ↓ 大部分の人が 胃がんハイリスク群 	全ての中高年層をターゲット に胃がん検診を実施するのが 効果的
これから	ヘリコバクター・ピロリに 感染している人は少数 ↓ ハイリスク群（ヘリコバク ター・ピロリ感染陽性者）に ターゲットを絞るのが効率的	まず、ヘリコバクター・ピロ リ感染有無によりリスク層別 化 ↓ ハイリスク群に胃がん検診を 実施するのが効果的 

# 結語

- ヘリコバクター・ピロリ感染は胃がんの最大のリスク要因。
- ヘリコバクター・ピロリ感染率は出生年が遅くなるほど減少。
- ヘリコバクター・ピロリ感染の減少により、胃がんは減少している。
- ヘリコバクター・ピロリ感染率の低い世代には、まずリスク層別化しハイリスク群へ介入するのが効率的。

ご清聴ありがとうございました。